

(様式1)

平成28年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 010	提案機関名 水産課
要望問題名 県内主要魚種の資源評価	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模（面積、数量等）】 知事許可漁業を検討する上で、県内における対象魚種ごとの資源動向の把握は重要である。宮崎県では、CPUE等から魚種ごとの資源水準と動向を判断する資源評価が行われており、これらにより資源管理方針の作成に活かされている。 本県でも同様の手法により資源評価を行うことを検討していただきたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

※ ここから下の欄は、回答者が記入してください。

回答機関名	水産技術センター	担当部所	企画資源部企画調整担当
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名	(①、②、④の場合)		
対応の内容等	<p>宮崎県の事例については、同県の指導を担当され資源評価委員でもある東北大学の片山知史教授を昨年度、研究支援研修にお呼びして、その内容について所員を対象に講演いただきました。また昨年度から当所内の企画委員会の場で資源評価について今後どのように取り組んでいくかが議論され、まずは重要水産資源13種について漁獲量を基にした資源評価を実施することが決まり、平成27年12月に「神奈川県周辺海域における重要水産資源の動向」を当水産技術センターのホームページにて公表しました。</p> <p>宮崎県で行われているようなCPUE等の資源水準の指標値を基にした資源評価については、データの不足もあって、現在のところ多くの魚種で不可能ですが、他の資源評価方法も含め今後検討していきたいと考えております。</p>		
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			